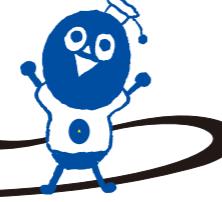


目白大学同窓会報



Vol.21
March 2017



連載「同窓生の現在」

芸人 猫ひろしさん

(瀧崎 邦明さん)



Voice! 同窓生の現在

昨年リオデジャネイロオリンピック 男子マラソンに
カンボジア代表として出場。芸人、そしてアスリートとしても
活躍する瀧崎邦明さんにお話を伺いました。



(瀧崎
邦明
さん)

瀧崎 邦明さん
WAHAHA本舗所属。日系カンボジア人の芸人、
マラソン選手。
平成20年よりフルマラソンに挑戦し、カンボジア
代表として念願であったオリンピックに出場を果
たし見事完走。自己ベストは2時間27分48秒。



猫ひろしさん

平成12年度 人文学部言語文化学科卒業

芸人

大学時代に決断した
芸人生態のターニングポイント。

ロンドンからリオデジャネイロ、
そして東京へ。私の挑戦はこれからです。

“走ること”を通じて、日本とカンボジアの架け橋になりたいです。

中学校・高校の部活は、陸上部ではなく卓球部でした。ただ長距離を走るのが得意で、陸上部の大会にも借り出されたことがありました。目白大学に入学したきっかけは、高校生の頃から芸人になることが夢で、まずは東京に少しでも近付こうと考えたからです。入学後は週に3~4回はお笑いライブや芝居、映画を観に行っていました。東京の「笑い」を肌で感じられることが嬉しくて、アルバイトの時間を惜しんでライブで通うほど。日本映画やメディアについて学べる授業も多く、本格的に芸人への道を模索するようになります。

大学4年生で、初めて参加した、ネタ見せの舞台で目にしたものは衝撃でした。後

に『猫ひろし』の名付け親でもあり、師匠に当たる『東京ダイナマイド』のハチミツ二郎さんや『浅草キッド』さん達と会うことができ、生のネタを見ることができたのです。独特の面白さで「この人たちに付いていくみたい」「本

格的に笑いを遊びたいと考えるようになりました。付き人として大学4年目を過ごさせていた

だきました。当時就職活動は切っていましたが、卒業式の日には初ライブを行いました。学生生活は自由な時間が増えたから何かを学ぶ」ではなく、「自分の好きなことをして過ごした4年間」から得るものが多いかもしれません。私の場合は「大学

から何かを学ぶ」ではありません。自信が芽生えました。学生生活は自由な時間が増えたからこそ、その時間を使って何をやるか、が大変なのが多かったです。自信が、後にカンボジア代表として、マラソンを走ることへの挑戦につながったかもしれません。

久しぶりに大学を訪れた猫ひろしさん。学生時代は図書館で過ごすことが多かったそう。学長にも面会し、思い出話に花を咲かせました。

オリンピックのゴール後にも見えてくれた、おなじみの「ニヤー！」を披露。観客からはカンボジアコールがわき起ったそうです。

オリンピックのゴール後にも見えてくれた、おなじみの「ニヤー！」を披露。観客からはカンボジアコールがわき起ったそうです。



学園祭レポート

第23回

桐榮祭

10/29(土)
・30(日)



「学務部長賞」は全学科から集まり活動しているダンス部「Funny Movements」が獲得。練習の成果を存分に発揮した息の合ったパフォーマンスは桐榮祭を多いに盛り上げました。



同時に開催されたいわつきマルシェでは地域の特産品を活かした様々なメニューを味わう事ができます。



グラウンドではうどんや焼き鳥、台湾春巻きなど様々な模擬店が学園祭の雰囲気を盛り上げていました。学内に響く呼び込みの声は懐かしく自分達の学生時代を思い出した方も多いかったのではないかでしょうか。いつも全力で取り組む後輩たちの姿はほほえましくも温かったです。



この5名の候補生の中からミス白が選ばれました。



開会式ではバルーンリリースが行われ色々やかな風船が桐和祭を彩りました。

第48回

桐和祭

10/22(土)
・23(日)

23日には若葉陸・一心會のご協力でお神輿が学内に登場。地域のお祭りでも活躍しているお神輿とあってその存在感は随一。本館からグラウンドを目指していく様子は勇ましく、来場した子どもたちもその後につき可愛らしい掛け声をかけておりました。

同窓生の部屋

同窓会では同窓生専用の休憩スペースを出展し、先生方から戴いたメッセージの掲示や卒業アルバムの展示、お茶や食券の配布等を実施しました。

当日は多くの同窓生や教職員が集まりちょっとした同窓会のような和やかな雰囲気に。次回も同様の企画を実施しますのでぜひ遊びに来てください。



卒業生の皆さんお元気で活躍のことと思います。福祉の現場から届く声は皆さんが利用者に寄り添い利害の声に耳を傾けて支えているという評判です。私は皆さんが利用者に寄り添い利害の声に耳を傾けて支えている姿を嬉しく見ていました。特に実習でお世話になつた時には、優しく丁寧に後輩を指導してくださって、感謝です。今年で10年です。皆さんが保育や教育の現場で活躍している姿を嬉しく見ていました。これからも身体に気を付けて益々お励みください。白百合大学にそして母校にも顔を出して活躍を伝えてください。

矢島 阜郎
人間福祉看護科教授(人間学部 学部部長)
高橋 弥生
子ども学科教授(看護科長)
同窓生の部屋で掲示させていただいたメッセージの一部を紹介します。



卒業してから皆さんの頑張りを耳にするとともに嬉しく、私も頑張らねばと元気をもらっています。近況を伝えにいらしてくださいね、待っていますよ♥

皆さんにおかれりなさい! 看護学科 教授(看護学部 学部長)
平成27年度3月に白百合大学を卒業し、現在大学事務局の学生課でお仕事しています。卒業生の皆さまがより一層誇りを持てる母校となるよう、職員として日々精進しております。いつでも白百合大学に、学生課に、会いにきてください!

小菅 利将
学生部 学生課

堤 千鶴子
看護学科 教授(看護学部 学部長)

岩槻 坊

理学療法学科 専任教師

岩 横

張 燕

学生部 学生課

張 千鶴子

看護学科 教授(看護学部 学部長)

甲子 太郎

理学療法学科 専任教師

岩 横

兵頭 甲子太郎

理学療法学科 専任教師

岩 横

千鶴子

看護学科 教授(看護学部 学部長)

坊 堤

理学療法学科 専任教師

千鶴子

看護学科 教授(看護学部 学部長)

太郎 兵頭

理学療法学科 専任教師

太郎 兵頭

おしゃべり Café

同窓生の方が気軽に情報交換できる場所として、
「おしゃべりCafé」が始まりました!



私達はアルバイトしていました会社から独立させていただき、環境に優しい物を提供しようとLED交換工事事業を行っております。電気工事の資格を取得し数多くの事務所や高天井の交換工事などをやらせていただいております。地域社会学科で学んだことを活かしこちらも頑張っていきたいと思うと同時に環境に配慮した自白大学で学べたことを誇りに思います。

◆地域社会学科 平成26年度卒業 石川 雄一さん
◆地域社会学科 平成25年度卒業 是佐 亮さん



自白大学新宿キャンパス「フォローカム隊」二期メンバーとの集まりです。結婚していたり、仕事の関係でメンバー全員と集まることは出来ませんが、定期的に個々に連絡を取り合っています。その際は仕事やプライベートの近況を報告したり、辛口アドバイスや討論が飛び交うところは団体にいた時と変わりません。部員募集中!GO!QUAKES!



卒業後母校である自白大学の教務課に勤務し、ご縁があって2016年に出版社へ入社しました。仕事をしながらチア部の後輩たちの指導もしています。彼女たちはチアを通して「かけがえのない仲間と支え合い、自分の為・誰かの為に精一杯努力する素晴らしい」を学んでくれたらいいなと思っています。部員募集中!GO!QUAKES!

◆社会情報学科 平成24年度卒業 石山 花梨さん

お便り募集
自白大学同窓会では会報誌やFacebookを通じて、皆さまの近況やご活躍を数多くご紹介して行きたいと考えています。同期やサークルの仲間と集まつたときの様子や新しい家族のこと、職場での同窓生同士のつながり等、旧友に紹介したい皆さまの現在をお気軽にお寄せください!

メールに①氏名②卒業学科③連絡先をご記入の上150文字程度のメッセージとお写真を添付し(honbu@mejiro-dousou.org)までご連絡ください。会報誌の感想や同窓会活動へのご意見等も受け付けております。皆様からのメッセージお待ちしております。
※お写真の返却は致しませんのでデータでの添付をお願いいたします。
※掲載時期などのご指定は難しい場合がありますのでその旨ご了承ください。

同窓会 Information

自白大学同窓会は自白大学の学生が卒業と同時に会員となり、相互の親睦を深めると共に、母校の発展に寄与することを目的とする団体です。会員数327名からスタートした当同窓会も、今年度 総会員数15,000名を超える大きな集まりへと成長してまいりました。

現在同窓会では2年後に控える『自白大学同窓会創設20周年』にむけ、要望の多かった卒業生みんなが集まる同窓会の様なイベントを開催できるよう検討しております。次年度には皆さまになにかご報告できるかと思いますのでしばらくお待ちください。

また、前回より会報誌をより身近なものに改訂を行いました。表紙への写真投稿やおしゃべりCaféでの近況紹介にご協力いただける方は同窓会事務局までご連絡ください。事務局より詳細をご案内させていただきます。

自白大学同窓会ではこれからも総会や学園祭、メールなどで皆様からご意見ご要望をいただき活動に反映していきたいと考えております。

今後とも活動へのご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

住所変更のお願い

自白大学同窓会では皆さんの住所を大学から引継ぎ管理しています。今後も大学や同窓会からの情報を届けできるよう新しい連絡先を下記サイトよりお知らせください。

まずは読み込みを!!

STEP1



QRコードの読み込み

読み込めない場合は
<https://kwml.jp/mu/>
へ直接アクセスしてください。

STEP2

専用ページで 必要事項を入力

これで住所変更が完了!!

編集後記

学園祭の写真を多く掲載した今回の会報誌はいかがでしたでしょうか?皆さんが快く撮影をさせてくださいことに役員一同感謝しております。キャンパスの最寄り駅である岩槻駅と中井駅はどちらも改修工事が行われエレベーターが設置されました。便利になった駅を使って次の学園祭もぜひ遊びに来てください。お待ちしております。

次号予告
同窓会の活動報告や
学園祭へのお誘いなどを掲載予定!
お楽しみに!



同窓会活動に興味のある方はコチラ

現在同窓会では広報活動やイベント運営を手伝ってくださる会員の方を募集しております。ご協力いただける方は応募フォーム(<https://kwml.jp/mu/>)よりご連絡ください。

ホームページやFacebookでは同窓会の活動だけでなく、皆さまが参加できるイベント紹介など自白大学に関する様々な情報を伝えています。ぜひチェックしてみてください。

<http://www.mejiro-dousou.org/>
<https://www.facebook.com/mejirodousou.org/>
ホームページ
Facebook

自白大学同窓会 支部レポート

看護学部支部「楓の会」

自白大学看護学部「楓の会」は、看護学部を卒業された方を対象に、同窓生や先生方が集まり、仕事の内容などを報告し合う場として活動しています。みんなに会いたい!先生と話したい!という方におすすめです。



楓の会へのご意見・お問い合わせ 会の運営に興味のある方も、お気軽にご連絡ください。 tsukinokai@mejiro-dousou.org

総会の報告

2016年10月29、30日に岩槻キャンパスで桐祭が開催されました。1日目に看護学部支部楓の会の総会を実施し、議案について全て承認されました。今回卒業生の参加は少なかったですが、先生方とお会いでき、とても楽しい時間を過ごすことができました。

来年度は多くの卒業生に来ていただけるようイベントなどを考えて行きたいと思います。

新支部長就任



青木 美子さん

平成25年度
看護学科卒業

今回新支部長の大任を配しました、青木美子です。力不足な自分ですが、周りの方々に助けていただきながら精一杯努めさせていただきたくと考えていますのでよろしくお願ひいたします。私は自白大学看護学部5期生として卒業し、東京病院の呼吸器内科で働き始め3年目となります。患者さんに寄り添う看護をしたいと決意し看護師となったものの、学生の時は違ひ1人1人の患者さんとの時間をじっくり取れるわけではなく、日々の業務に追われ、理想とのギャップに葛藤することもありました。しかし、先輩方の患者さんとの関わりから、時間だけでなく一つ一つの関わりの密度が大切だと教えていただきました。今は検温や挨拶の一つ一つに心を込めて関わらせていただき、患者さんと接することが楽しいと思えるようになりました。そして、自白の後輩も同じ病棟に入ってきたくれば、プリセプティーブとして関わらせていただく中、自分の1年目のときを思い出し懐かしく思ながら、日々の成長を嬉しく頼もしく思っています。自分自身もまだ知識が不足しているため、院内研修だけでなく院外研修にも参加しながら学びを深め、看護師としての専門性を高め、日々の看護に活かせるよう成長していくと思います。

いわつき地域交流会「アクティブ俱楽部」で地域貢献

厚生労働省は、2025年までに地域包括ケアシステムの確立を目指しています。確立に向けて全国各地で地域力を高めるためのサロン活動が行われています。自白大学岩槻キャンパスでも一昨年より地域連携・研究推進センターが設立され、地域に貢献する活動を行いやすい環境が整えられています。

そのような中、本学作業療法学科の小林先生と野村先生は、2016年4月より、いわつき地域交流会「アクティブ俱楽部」というサロン活動を行っています。「アクティブ俱楽部」は実は、自白大学作業療法研究会で作成した「IMK(岩槻まちづくり計画)」を参考としてできた活動です。

岩槻キャンパスの敷地、グラウンド、屋内施設、知識、教員と学生を資源とし、交流と活動を通して岩槻地域の方々のアクティブな生活をお手伝いする活動です。参加者は月に1回岩槻キャンパスに集まり、健康測定や体操、健康に関する情報共有、桐祭への出店など、幅広い活動を行います。運営には学生や卒業生もボランティアとして参加し、世代間交流と教育の場にもなっています。

来年からは岩槻社会福祉協議会および岩槻圏域にある3つの地域包括支援センター共催事業としての連携も決定し、いわつき市民健康大学(65歳大学)と並ぶ作業療法学科の一大地域貢献プロジェクトに成長しつつあります。

同窓生の皆さんも興味のある方は下記のアドレスまでお気軽にご連絡いただければと思います。

作業療法学科支部「めじけん」

自白大学作業療法研究会、略して「めじけん」。作業療法学科1期生が卒業した2009年より活動しており、症例検討会や自白大学の講師または外部講師を招いて勉強会を開いたりしている団体です。



ホームページ・Facebookのご紹介

めじけんのホームページにて研修会情報や、お問い合わせ・参加お申し込みができます。

めじけん 作業療法

検索

<http://mejiken.jimdo.com/>

めじけんFacebookは自白OT学科に限ることだけではなく、求人情報や研修案内、被災地支援など様々な情報を紹介!「秘密のグループ」なので承認されたメンバーのみ閲覧できます。

めじけん(自白大学作業療法研究会)



お問い合わせ / mejiken.ot@gmail.com